

- 関係人口は、訪問先の地域活力の維持・向上に資するだけでなく、訪問する側においても“よく生きるため”の手段として非常に有効。
- 地域住民と関係人口が連携・協働した地域づくりを進めるため、懇談会では、関係人口の実態把握を全国規模で実施するとともに、地域側の視点を取り入れた関係人口の拡大・深化に向けた施策の方向性を検討。

## 懇談会の構成

### (懇談会委員) ◎：座長

- ◎小田切 徳美 明治大学農学部教授
- 石山 アンジュ 一般社団法人シェアリングエコノミー協会 事務局長  
一般社団法人Public Meets Innovation 代表理事
- 岡本 圭司 鳥取県交流人口拡大本部ふるさと人口政策課  
関係人口推進室長
- 嵩 和雄 NPO法人100万人のふるさと回帰・循環運動推進・  
支援センター 副事務局長
- 指出 一正 ソトコト編集長
- 多田 朋孔 NPO法人地域おこし 事務局長
- 谷口 守 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授
- 中島 みき 株式会社カヤック ちいき資本主義事業部 事業部長

### (事務局)

国土交通省国土政策局総合計画課

### (オブザーバ)

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局、総務省、農林水産省

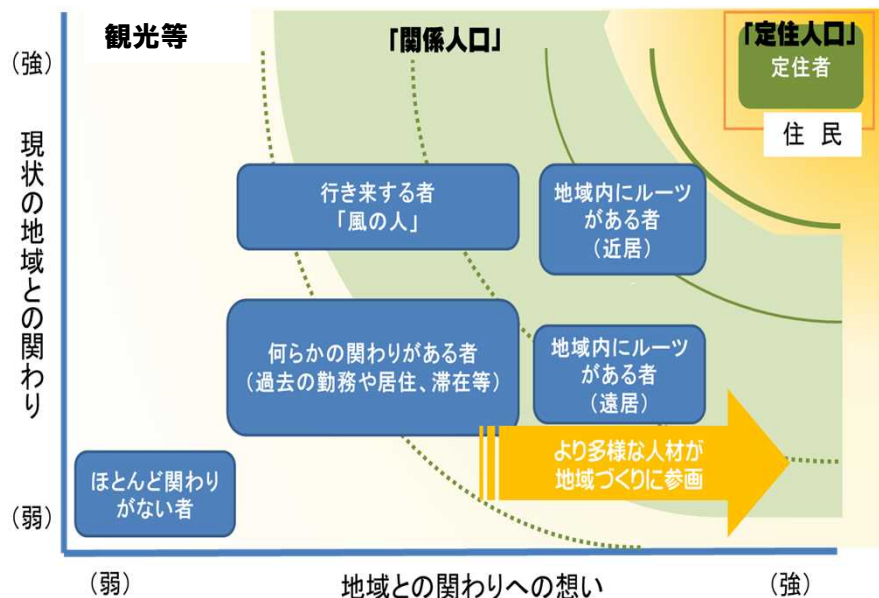
## 実施の流れ

- 第1回 (R2. 7.10) 議論の方向性を決定、キックオフ
- 第2回 (R2. 8. 4) 地域づくりにおける関係人口の位置づけ
- 第3回 (R2.10.27) 地域と関係人口とのつながりの創出①
- 第4回 (R2.11.10) 地域と関係人口とのつながりの創出②
- 第5回 (R3. 1.19) シェアリングを活用した地域づくり
- 第6回 (R3. 3.19) 議論のとりまとめ

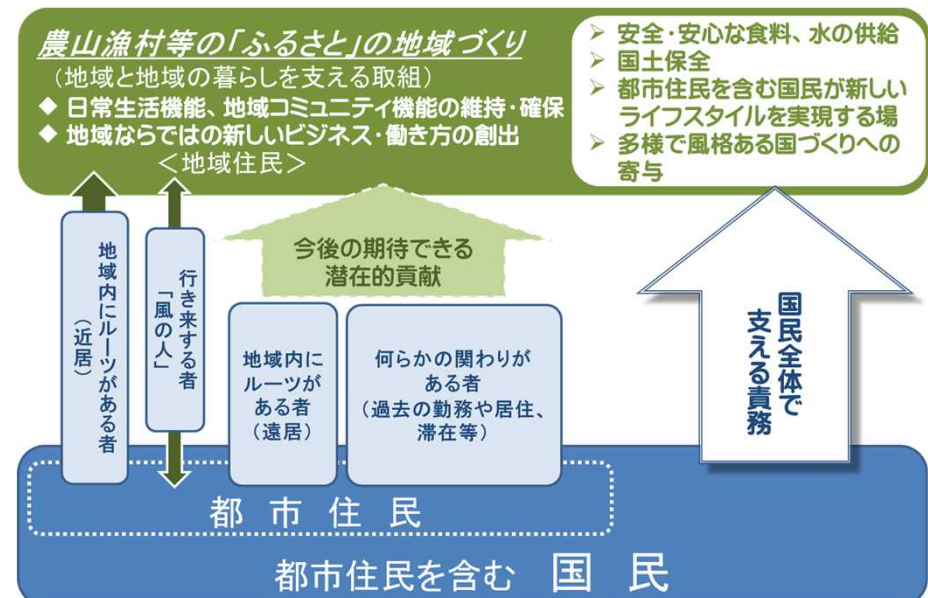
# 1 関係人口とは

- 「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光等でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者。
- 地方圏は、人口減少・高齢化により地域づくりの担い手不足という課題に直面しているが、地域によっては若者を中心に、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域に入り始めており、地域づくりの担い手となることが期待される。

## 「関係人口」のイメージ



## 「関係人口」に期待される役割



出典：総務省を国土政策局が加工

## 2 懇談会における検討を通じた整理(1)

- 懇談会における検討を通じて、関係人口には多面的機能があること、関係人口が地域と関わる余白(関わりしろ)が重要であること、多種多様な関係人口の存在が地域の内発的発展を促進すること等を明らかにした。

### (1) 関係人口とは何か(関係人口の実態)

- 関係人口の実態把握を通じて多種多様な関係人口の存在が明らかになった。
- 災害発生時等に様々な関係性を派生する関係人口の多面的機能を確認した。

### (2) 関係人口と地域づくり

- 関係人口が地域と関わるきっかけとなる余白ともいえる“関わりしろ”が重要であり、多種多様な関係人口の存在が地域住民及び他の関係人口を触発し、地域づくりへの直接的な寄与を促進することを確認した。
- 地域への無関心層が多数存在することから、地域に対する興味を増進させる取組が重要であることを確認した。

### 関係人口の実態

- 18歳以上の全人口の約2割弱が関係人口として、日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域を訪問
- 関係人口の来訪が多い地域は、三大都市圏からの移住も多い
- ふるさと納税、地場製品の購入、オンラインを通じた地域との交流等を行っている非訪問系の関係人口も一定程度存在
- 災害発生時等に様々な関係性に派生する等、関係人口には多面的機能や関係性のレジリエンス機能が存在

### 関係人口の活動促進に重要な要素

#### 関わりしろ

(地域と関わるきっかけとなる余白)

#### 地域に対する興味

(現状は地域への無関心層が多数)

#### 多種多様な関係人口

(関わり方の濃淡を許容した連携・協働)

## 2 懇談会における検討を通じた整理(2)

- 関係人口の拡大・深化の観点からは、「人」「場」「仕組み」からなるつながりのサポートが重要であることを明らかにした。

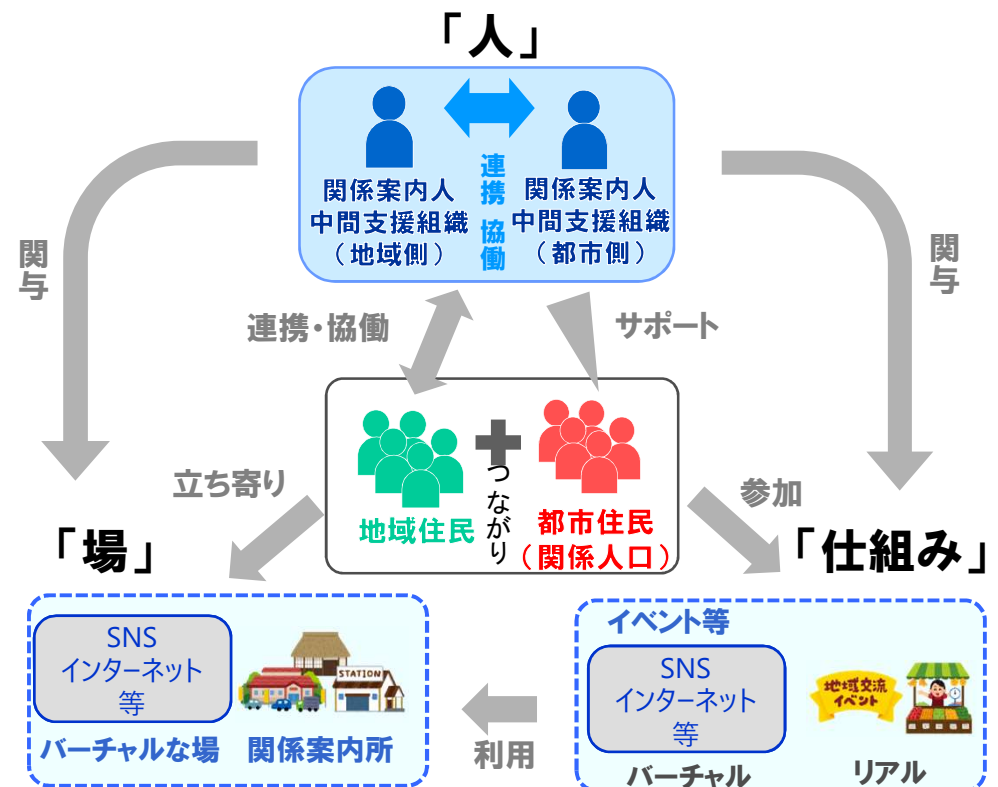
### (3) 関係人口の拡大・深化に向けて

- 関係人口の多様性を理解し、地域の実情に応じた関係人口と地域の連携・協働の在り方を模索すること等の重要性が明らかになった。
- “関わりしろ”との遭遇を計画的に生み出すことにつながる、関係人口と地域の人とのつながりのサポートについては、関係案内人等の「人」、関係案内所等の「場」、イベント等の「仕組み」が重要であると確認した。

### (4) 施策の方向性

- 関係案内人、中間支援組織等が行う取組を適切にバックアップ(人材育成を含む)
- 地域に対する理解・興味の増進
- 国及び地方公共団体が地域に対して人的な支援を実施 など

### ■ 関係人口の拡大・深化に向けて

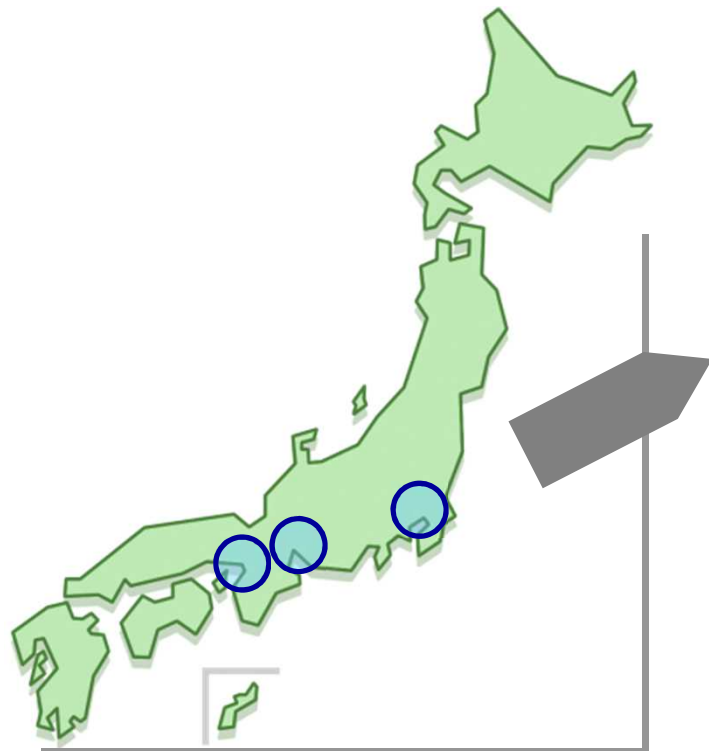


# 4 関係人口の実態把握の概要

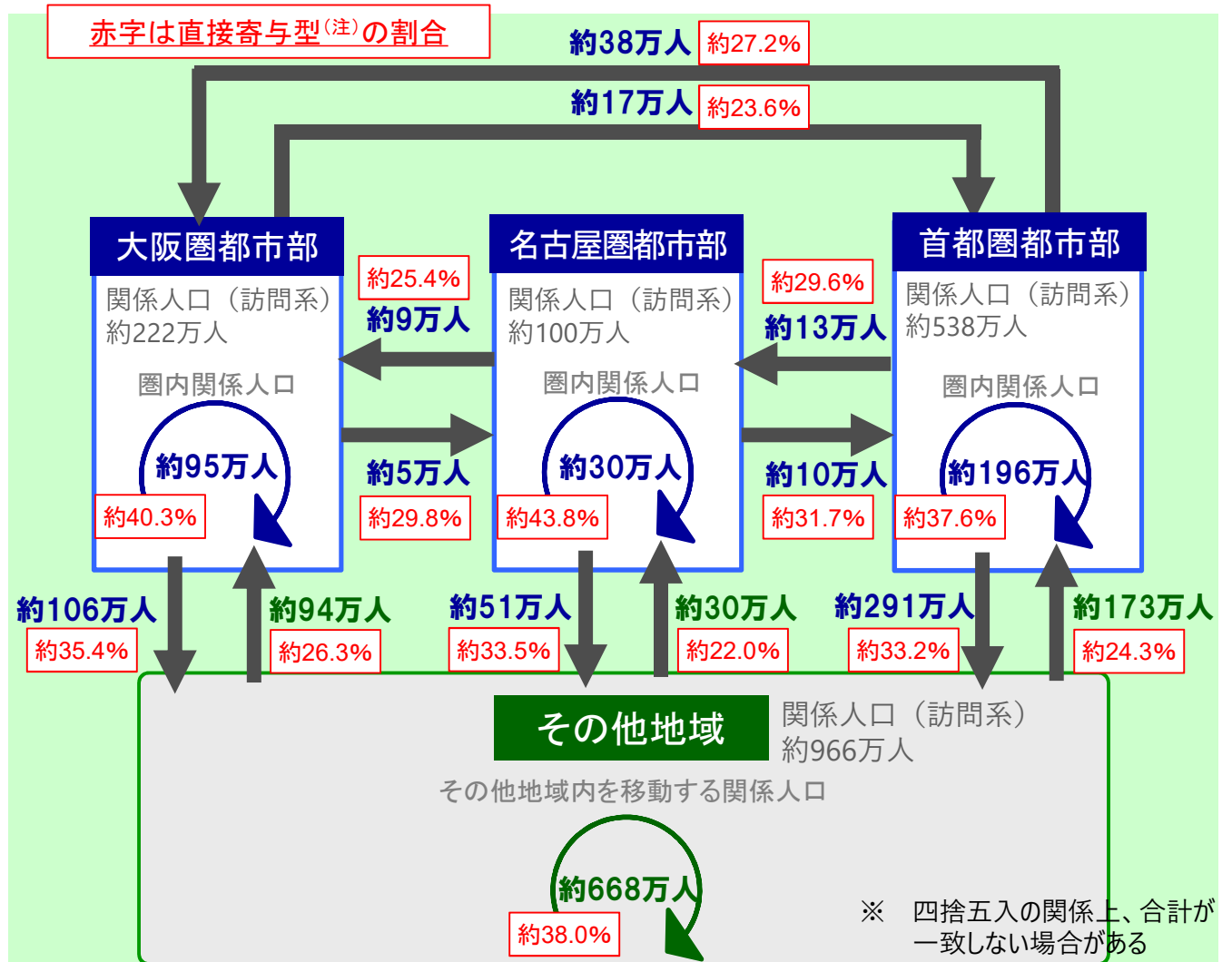
## ～ ① 関係人口(訪問系)の対流の状況 ～

全国の関係人口(訪問系)は  
約1,827万人と推計

- 地方部(その他地域)から三大都市圏への流動よりも、三大都市圏から地方部(その他地域)への流動の方が大きい。
- 同一圏内に関わる関係人口及び三大都市圏から地方部(その他地域)に関わる関係人口については、直接寄与型(注)の割合が大きくなっている。



### 三大都市圏とその他地域間の関係人口(訪問系)の流動



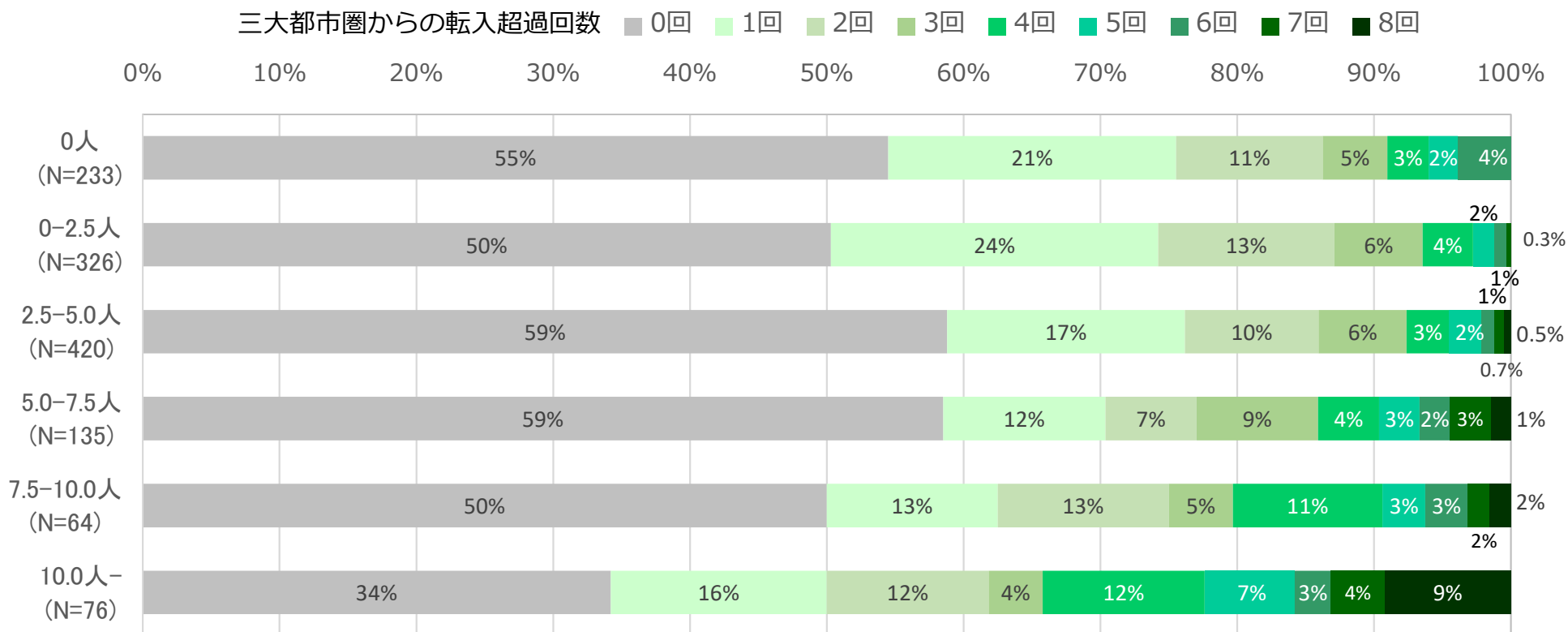
(注)「直接寄与型」とは、地域において、産業の創出、商店街の空き店舗等の有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営又は協力・支援等を行い、地域との関わりが深いとされる関係人口  
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、人数ベース

# 5 関係人口の実態把握の概要

## ～ ② 関係人口と移住の関係 ～

- 人口1万人当たりの関係人口（訪問系）の人数が多い市区町村は、三大都市圏※からの転入超過回数も多いことを確認。※関係人口の実態把握の三大都市圏とは定義が異なる。
- 関係人口（訪問系）の来訪が多い地域において、三大都市圏からの移住者が多いことについては、そのような地域では、外部の人を受け入れる環境が整っているからであると考えられる。

### 人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の人数と三大都市圏からの転入超過回数



人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の人数(実測値)

注1：三大都市圏内の市区町村は含まない  
 注2：国勢調査（H27）人口を活用して、人口1万人あたり関係人口（訪問系）を集計

(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース  
 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告(H24～H31)」

# 【参考①】 関係人口の来訪及び転入超過回数が多い市町村

## 人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の人数及び三大都市圏からの転入超過回数が多い市町村

### 転入超過回数

人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の人数(実測値)	4回	5回	6回	7回	8回	
	5.0-7.5	北海道 長万部町 石川県 輪島市 岡山県 吉備中央町 大分県 国東市 鹿児島県 宇検村 沖縄県 宜野座村	北海道 東川町 滋賀県 大津市 島根県 邑南町 鹿児島県 和泊町	北海道 倶知安町 静岡県 伊東市 大分県 竹田市	山口県 周防大島町 鹿児島県 屋久島町 沖縄県 本部町 沖縄県 久米島町	長野県 原村 鹿児島県 与論町
	7.5-10.0	岩手県 陸前高田市 群馬県 嬬恋村 長野県 茅野市 長野県 富士見町 長野県 山ノ内町 静岡県 松崎町 島根県 西ノ島町	宮城県 女川町 長野県 信濃町	静岡県 東伊豆町 香川県 琴平町	沖縄県 宮古島市	滋賀県 草津市
	10.0以上	北海道 ニセコ町 長野県 長和町 長野県 野沢温泉村 静岡県 南伊豆町 香川県 小豆島町 熊本県 阿蘇市 熊本県 南阿蘇村 沖縄県 国頭村 沖縄県 与那国町	山梨県 早川町 山梨県 山中湖村 長野県 小谷村 島根県 海士町 鹿児島県 南種子町	長野県 売木村 沖縄県 石垣市	北海道 上士幌町 栃木県 那須町 新潟県 湯沢町	山梨県 北杜市 長野県 軽井沢町 長野県 白馬村 静岡県 熱海市 沖縄県 今帰仁村 沖縄県 恩納村 沖縄県 竹富町

注1：三大都市圏内の市区町村は含まない

注2：国勢調査（H27）人口を活用して、人口1万人あたり関係人口（訪問系）を集計

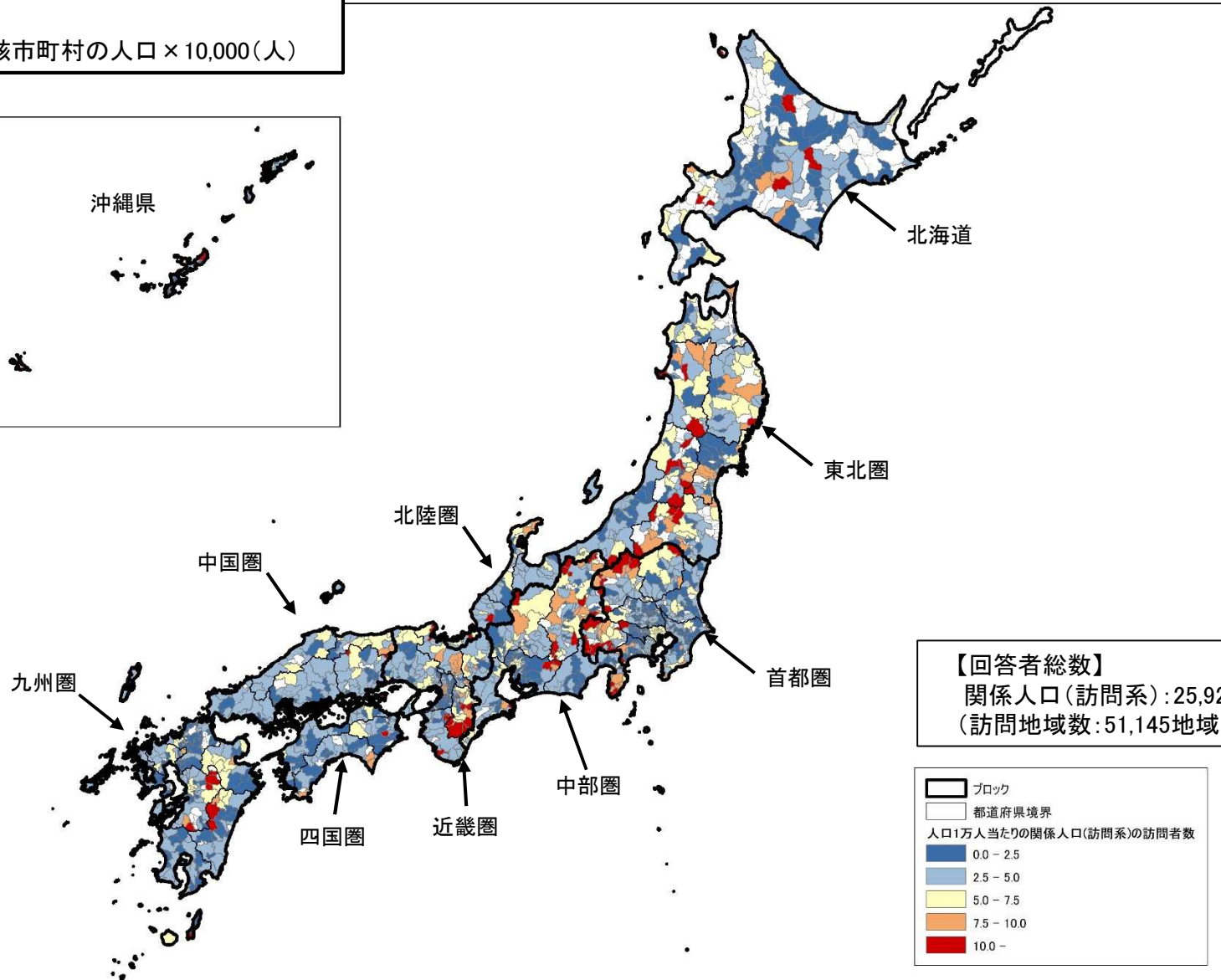
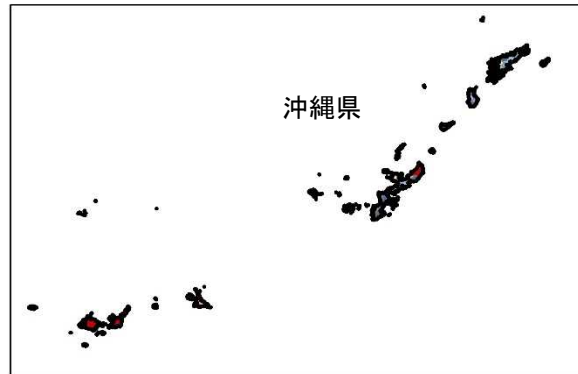
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース  
総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告(H24～H31)」

# 【参考②】 関係人口(訪問系)と移住の関係

## — 関係人口(訪問系)の訪問先 —

### 【計算方法】

関係人口(訪問系)人数 / 当該市町村の人口 × 10,000(人)



### 【回答者総数】

関係人口(訪問系): 25,924人  
(訪問地域数: 51,145地域)



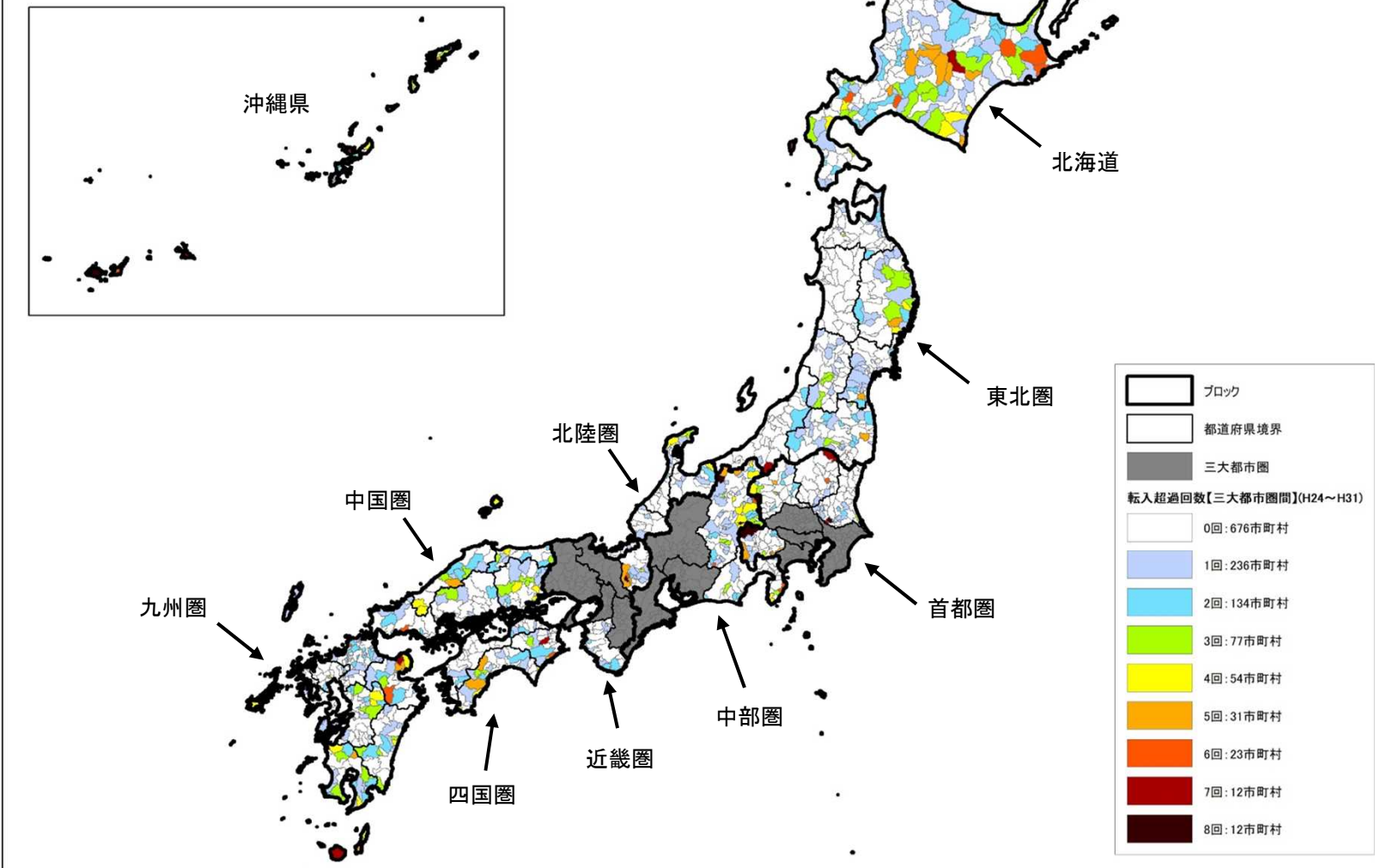
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース  
※H27国勢調査を活用して、人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の訪問者数を算出



# 【参考③】 関係人口(訪問系)と移住の関係

## — 三大都市圏からの転入超過回数の空間分布 —

注) 当該頁における三大都市圏と「地域との関わりについてのアンケート」  
(国土交通省、令和2年9月実施)における三大都市圏とは定義が異なる。  
(「地域との関わりについてのアンケート」における三大都市圏の定義は補足資料で整理)



※各市町村と三大都市圏の都府県間毎の転入者、転出者数のデータを基に整理しており、「調査していないため該当数値がない」データについてはゼロと取扱いデータ処理していることから、**社会増が生じていてもその状況が浮き上がってこない市町村が相当程度あることが推測される。**  
※「調査していないため、該当数値がない」データについてはゼロと取扱いデータ処理。